

<保育士・幼稚園教諭>

Q. HPで津市は幼保小連携に力を注いでいると書かれていましたが、どんなことをしていますか？

A. (職員A・幼稚園教諭)

現在、津市では津市架け橋プログラムとして、幼児教育と小学校教育の相互の理解と、互いの保育・教育の充実と改善をめざして、子どもの姿をもとにした話し合い等を行っています。その中で、幼児教育側としては、子どもが主体的な遊びを通してどのように学んでいるのか、子どもを理解した上でその子にどのような力をつけたいのか等のねらいを持ちながら、一人一人にあった丁寧な保育をしています。

A. (職員B・保育士)

津市架け橋プログラムの取り組みは公立、私立の枠を超え、保育園、子ども園、幼稚園、小学校の職員の代表が集まって意見交換を行う場となっているので、幼保小連携を進めていくうえでとても貴重な時間となっています。

Q. 私立や公立の園がある中で、津市の公立園のよさはどんなところですか？

A. (職員A・幼稚園教諭)

津市の幼稚園ではICT化が進んでおり、幼稚園の各クラスにタブレットが配置されていますので、業務改善とともに保育の中で、子どもと一緒に共有したり、探求したりという目的でも使用しています。

津市の公立幼稚園では、園児数が少なくなっている現状があります。その様な中でも、遊びを通した幼児の学びを大切にしていますので、子どもの成長する過程をしっかりと感じ取ることができるということは、子どもが好きでこの仕事を選んだ私たちにとっては一番の魅力です。また、職員数が少ないため、職員同士が力を合わせて子どもを育てるという意識があり、そのような風土のよさも魅力です。

A. (職員B・保育士)

津市の保育園、こども園では令和4年度より保育ICTシステムを導入し、保育士の事務負担軽減だけでなく、保育業務に集中できる環境をしっかりと整えている点が魅力でもあります。ICT化により下記のような業務改善がされました。

- ① 登降園打刻システムは園児のQRコードをコードリーダーにかざすだけで、園児の登降園の時間が自動的にシステムに入力されます。
- ② 午睡チェックをタブレットで行っています。午睡中の園児の安全について

て記録をするものですが、ペーパーレス化にもつながっています。

- ③ 園だより、その他配布物についてはWEBで配信しており、紙と比べると印刷作業がないので、作業効率も上がりました。

Q. 一番、困ったこと（大変なこと）はどんなことですか？

A. 職種に関わらず、どのような職場でも働く上では、人間関係は大きいと思います。例えば、保護者との関係の中で、自分の思っていることと、相手の思っていることのズレをどんなふうに近づけていくかということが大変だと思います。でも、その分、分かり合えた時の達成感は大きいです。幼稚園では、一人で悩まずにみんなと相談しながら、様々なことに対応しています。

<保健師>

Q. 津市内には保健センターが10か所ありますが、業務の違いはありますか？

A. 地域特性により異なる部分もありますが、基本的には津市内統一した事業を展開しています。

Q. 新卒で保健師として就職するか、看護師経験を経てから保健師として就職するか、どちらかで迷っています。

A. 新卒で就職する人、看護師経験を経てから就職する人は、私自身が就職してからはどちらも半分くらいの割合だと思います。保健師と看護師は業務内容が違うため、一概にどちらが良いということはないですが、自分自身のやりたいこと、キャリアプランを見つめ直して、適正を考えてもらえればと思います。

Q. 看護師に向いている人、保健師に向いている人はどのような人ですか？

A. 私自身の主観ではありますが、夜勤後も活動できる人が長く看護師を続けている印象があります。津市の保健師は、自分の生活や生活習慣を整えながら仕事ができますので、個人から地域へといった広い視野を持てる人が良いかもしれません。

<技能員（調理員）>

Q. 小中学校に勤務する場合、夏休み等の長期休暇の時に仕事はありますか？

A. 長期休暇の間も、正規職員の場合は通常どおりに勤務します。普段、給食を作っているとなかなか出来ない調理室内の大掃除や、調理器具・食器等の劣化がないかを点検してきれいに洗浄します。また、掃除だけでなく講習会や調理実習、保育園への研修（応援業務）などもあり、技術や知識の向上にも努めています。

Q. 働いている職員は調理経験がある方ばかりですか？

A. 初めて調理のお仕事をする方もたくさんいます。津市は受験資格に調理師免許が必要なく、給食調理員として働いてから免許を取得する方もたくさんいるので調理経験がなくても大丈夫です。